

当健康保険組合の平成21年度の決算が、先日開催された組合会において可決・承認されましたので、そのあらましをご報告いたします。あわせて人間ドック早期受診のすすめと保健指導についてお知らせいたします。

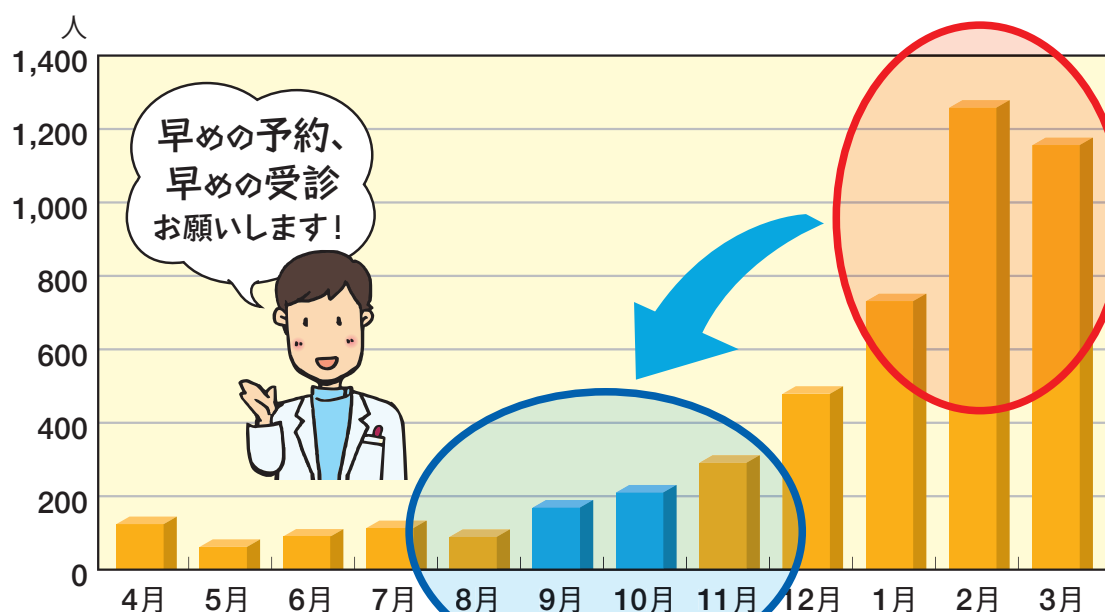


余裕を持って

## 人間ドックは 秋(9・10月)に受診しましょう! ～人間ドック受診のご案内～

下のグラフは、当健保組合の平成21年度の人間ドック(35歳以上対象)の月別の受診者数を表したものです。特徴として、受診が1～3月に集中してしまい、全体の65%がこの期間に受診という結果でした。

人間ドックは、余裕をもった9月・10月の受診に向け、極力早めの予約をご検討ください!



**1～3月受診は**  
・施設が混みあい  
・予約が取りづらい  
・待ち時間が長い  
など、あまりおすすめ  
できません。



余裕をもって受診すれば、

- **希望通り**の日程で**予約**が取りやすい!
- 十分に**保健指導**を受けられます!



平成21年度の健診受診率は98.0%(在籍者)に達し、年に1回の健診が定着してきました。

わたしたち勤労する者が年に1回健康診断を受けることは、法に定められた権利であり同時に義務でもあります。また、会社(事業所)にとって

も社員に健診を受けさせることが義務づけられています(労働安全衛生法)。

当健保組合と会社は今後も協力し、受診率100%に向けた受診促進・広報をすすめ、あわせて受けやすい健診体制を整備構築してゆきます。

**ご自分で進んで健診のスケジュールを立ててください!**

# 健診結果を活かすために…

## 健保事業のご紹介

健診データに基づき、企業と協働として健康管理のサポート（面談事業）を行っています。

### 1. 生活習慣指導面談

#### ▶ だれが対象になるの？

- ・全年代が対象
- ・肥満度・血圧・脂質代謝・糖代謝の4項目のうち、3項目以上で当てはまる方

#### ▶ どんな事をするの？

検査データの説明、再検査や治療開始のお勧めをすると同時に、生活習慣病の進行をゆっくりにするため、一緒にライフスタイルを振り返ります。

### 2. メタボ面談

#### ▶ だれが対象になるの？

- ・40歳以上で、内服をされていない方が対象
- ・動脈硬化性疾患のリスクが高い方を優先的に呼びかけています

#### ▶ どんな事をするの？

生活習慣を振り返り、半年の間で3～5kgの減量にチャレンジ頂きます。健保スタッフは目標の設定にあたってのお手伝いや、半年間のサポートを行います。

特定健診・保健指導事業は平成20年度より開始され、  
今年は300名の方が対象になる予定です。



健保スタッフがお話をお伺いします。



脂肪 1kg のモデルです。

### 面談の対象外になられた方でも…

この事業の一環として、40歳以上の全ての方々に、健診結果振り返りシートをお送りします。

- 20歳の頃から比べると、10kg以上太った…
- お腹周りが気になる…

メタボ病態になられている方でも、5%程度の減量により、将来の大きな病気を予防することは十分可能です！

サポートを希望される方は、健保スタッフまでお気軽にご連絡ください。



私たち健保スタッフがお話をお伺いします。

# 平成21年度決算のポイント

## 決算のあらまし

全国の健保組合は大変厳しい財政状況にあり、当健保組合も例外ではありません。その主な原因は、景気の後退による財政悪化と、高齢者の医療制度を支えるための「納付金」の負担の増加にあります。

こうした状況の中、平成21年度は、**経常支出が経常収入を上回る厳しい決算となりました。**

## ■一般勘定

### 収入

(単位：千円) (単位：円)

科目	決算額	被保険者1人あたり
保険料収入	3,560,083	412,955
調整保険料収入	73,869	8,568
繰越金	300,000	34,799
退職繰入金	0	0
繰入金	600,000	69,597
国庫補助金収入	4,480	519
特定健康診査等事業収入	0	0
前期高齢者交付金	0	0
財政調整事業交付金	38,319	4,445
雑収入	153,051	17,752
収入合計	4,729,802	548,637
経常収入合計	3,716,378	431,084
経常収支	-585,750	-67,945

#### 決算基礎数値

平均標準報酬月額 414,935円

被保険者数 8,621人

健康保険料率 1000分の64

### 収入のポイント

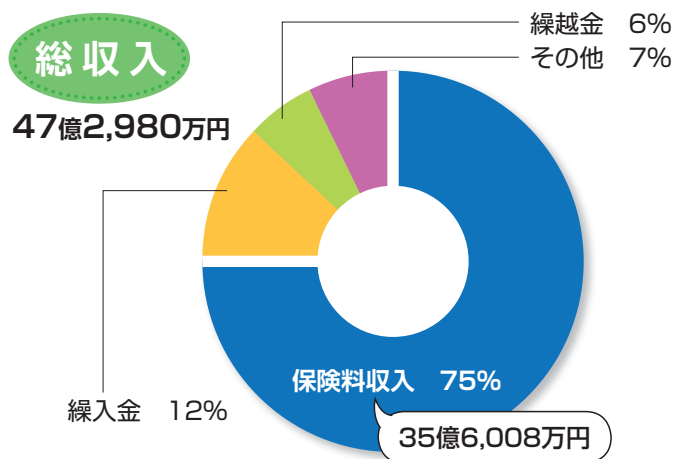
主な収入は、みなさんと会社が毎月納める保険料収入です。

健保組合の支出を、この保険料の範囲内でまかなうのが、本来の姿です。

### 支出

(単位：千円) (単位：円)

科目	決算額	被保険者1人あたり
事務費	121,906	14,141
保険給付費	1,869,875	216,898
納付金	1,707,736	198,090
保健事業費	595,373	69,060
還付金	382	44
営繕費	6,594	765
財政調整事業拠出金	73,693	8,548
連合会費	1,403	163
積立金	5,000	580
その他	460	53
予備費	0	0
支出合計	4,382,422	508,343
経常支出合計	4,302,128	499,029



## ■介護勘定

### 収入

(単位：千円) (単位：円)

科目	決算額	介護保険第2号被保険者たる被保険者等1人あたり
介護保険収入	252,555	80,329
国庫補助金受入	0	0
雑収入 利子収入	0	0
収入合計	252,555	80,329

### 支出

(単位：千円) (単位：円)

科目	決算額	介護保険第2号被保険者たる被保険者等1人あたり
介護納付金	224,590	71,434
介護保険料還付金	53	17
積立金	24,588	7,821
支出合計	249,231	79,272

## 支出のポイント

支出の主な項目は **①保険給付費** **②納付金** で、この2つで総支出の82%を占めています。

**①** 保険給付費は、組合員のみなさんが病気やけがをしたときの医療費や手当金です。

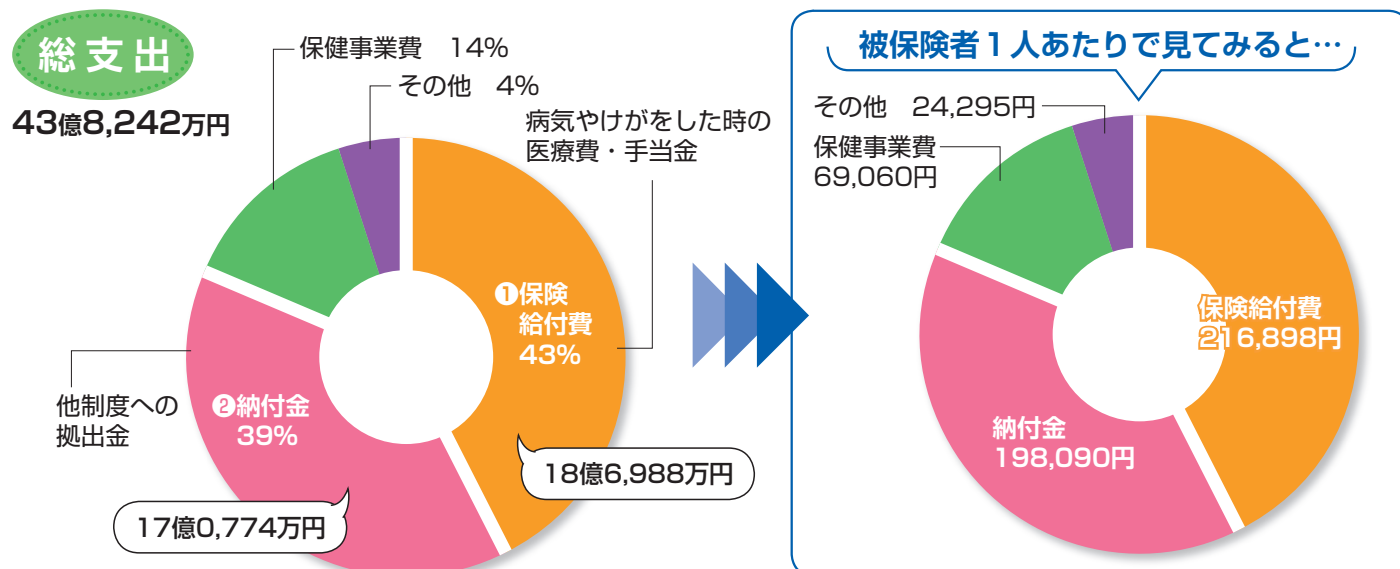
(18億6,988万円：総支出の43%)

**②** 納付金は高齢者の医療制度を支えるための支出（他制度への資金拠出）で、法の定めによってどの健保組合も納付することが義務づけられています。

(17億0,774万円：総支出の39%)

**①の保険給付費は**、組合員のみなさんに健康の保持増進に努力していただくこと、医療費の賢い使い方を認識していただくことで縮小することが可能となる費用です。当健保組合が保健事業の展開に注力しておりますのは、そうした背景を踏まえてのことです。

一方、**②の納付金は**、健保組合の財政を悪化させている大きな要因です。これは制度（法律）が変わらない限りは、今後も健保組合の財政を圧迫し続けます（平成22年7月からは納付金の負担がさらに増えることになりました）。よりよい制度構築の働きかけを、健保組合の上部組織である健保連などを通じてとりまとめ、政府や世論に強くアピールしている状況です。組合員のみなさんもその状況をご認識いただければ幸いです。



## 保険給付費と納付金が、総支出の82%を占めます！

- 当組合の保険料率は1000分の64と低率です。これまでこのような低率を維持できたのは、組合員のみなさんが健康保持増進に努めてくださったおかげです。
- しかし、納付金等を含んだ必要費用をまかなうための実質的な保険料率を算出しますと、1000分の72.89となります（平成21年度決算ベース）。
- 数字の上では、現在の保険料率では必要な費用をまかなえない状態にあるということです。
- 積立金の取り崩しで当座はしのげても、保険料収入の範囲内で支出をまかなうのが本来あるべき姿ですので、いずれは保険料率を上げることも視野にいれなければなりません。
- 収入と支出、今後の情勢を踏まえ、みなさんのご協力を得た上で、適切な舵取りをしてゆくことが必要です。